

初めて熊本地震の被災地、熊本県上益城郡御船町へ行ってきました。地震から4ヶ月が経ったところでした。

楽器・機材等あるので車で向かうために、大阪からフェリーに乗り新門司港へ。帰りは神戸までフェリーに乗るという、行程で行ってまいりました。

今年の夏、九州は異常な暑さが続き熊本は連日35度超えは当たり前で、湿度も高く、私たちが伺った時もかなりの蒸し暑さでした。地元の方々もこんな暑さは今までに経験したことがない、とおっしゃられるほどでした。

今回の訪問に際して、岩手の陸前高田でお世話になり、今は熊本・御船町にて支援活動がされています方にご紹介いただき、重度身障者の方々の施設「第二明星学園田代西部福祉センター」、高齢者総合施設の「グリーンヒルみふね」、そしてまだ避難所とされている御船町スポーツセンターで行われるお祭り「真夏の交流会」での演奏をさせていただきました。現地2日間での活動です。

一日目、御船町に到着し、街の様子についてのお話を伺いました。避難所では8月中旬で155名の方が生活されていました。仮設住宅もどんどん出来上がってきているようですが、早々に作られたところは酷暑と湿気であらゆる問題が出てきたり、東日本大震災で仮設生活で培った工夫などを伝えることもしているそうです。

一ヶ所目の第二明星学園田代西部福祉センターは街中にあった施設が倒壊し使用できなくなり、山間部にある同系列の施設へ夜中のうちに皆さんで移動されてきたと伺いました。ご利用者の皆さんそして職員の方々に聴いていただきました。人数も大勢だったため施設内にて二回演奏をさせていただきました。

今までたくさん物資が届いていましたがこのような心の支援は初めてのことで、本当に心から楽しんでくださり、利用者さんがこんなに長時間静かに聴いていられるとは思わなかった、と職員の方がお話をくださいました。皆さん最高の笑顔を見せてくださり、帰りも別れ難く皆さんで見送ってくださいました。

二日目は午前中に高齢者総合施設のグリーンヒルみふね、そして午後は御船町スポーツセンターで行われる「真夏の交流会」で演奏させていただきました。

グリーンヒルみふねはデイサービス、特養、グループホーム、小規模多機能のご利用者の皆さんと職員の方々に演奏を聴いていただきました。「本当に楽しかった」「胸に響きました」「幸せになろう、ってホントにそうなる気がしました」涙を浮かべて握手をしてくださる方もいらっしゃいました。職員の方からも「音楽って心に届きますね」とお言葉をいただきました。

御船町スポーツセンターは熊本YMCAの皆さんが主に支援活動をされています。避難所の方、仮設で生活が始まった方、ご近所にお住まいの方、そして熊本市内、名古屋、横浜からもボランティアも多数来られて、皆さんで交流をしようというお祭りです。地域の保育園の子達も来てくれました。手拍子をしてくださったり、口ずさんでくださったり、戦場の病院で「幸福になるための歌」のCDをかけたい、とおっしゃってくださる方もいらっしゃいました。

私たちが今までに何度と伺っていました岩手県陸前高田市のデイサービスの皆さまが、熊本の方々のために何かできることを・・・と作られたものを私たちの手から熊本のみなさまへお渡しすることができました。これもとてもご縁を感じました。
(直接に様々な機関へ送りたいとお申し出をされても今は物資は間に合っている、とどこも受け入れて下さらなかったそうです)

熊本の皆さんが明るく頑張っているのをとても感じました。まだまだ不自由な生活が続くかと思いますがどうかお元気でお過ごしいただきたいと思います。



<セットリスト>

田代西部〜1回目

風になりたい
風はなにいろ
山の人気者
大きな古時計
五木の子守唄
おもいで宝箱
幸福になるための歌
世界でひとりの君と僕

田代西部〜2回目

風になりたい
クラリネットを壊しちゃった
線路は続くよどこまでも
おお牧場はみどり
山の人気者
大きな古時計
終わりの花の命
幸福になるための歌
世界でひとりの君と僕

グリーンヒルみふね

緑色の道
胸の振り子
懐メロヒットメドレー
おもいで宝箱
五木の子守唄
ピアノソロ
山の人気者
瀬戸の花嫁
復興
愛のまなざし
幸福になるための歌

真夏の交流会

風になりたい
線路は続くよどこまでも
あらどこだ
ヤングマン
奇跡
五木の子守歌
夏の終わりのハーモニー
幸福になるための歌

